

堺セーフシティ・プログラム推進事業 予算要求資料

経過及び現況

「セーフシティ・プログラム」は、世界の各都市が、各種地域団体、国、国連組織、研究機関などの協力を得ながら、公共の場における女性と女兒に対するセクハラやその他の暴力の予防と対応に関する包括的なアプローチを企画し、実施、評価しようというもので、平成 25 年 12 月、先進国では世界で 2 番目に参加表明を行った。

事業初年度である平成 26 年度は、本市における犯罪傾向や地域特性、市民の意識などの調査・分析を行い、『スコーピングスタディレポート』としてまとめるとともに、市民への周知啓発のためキックオフシンポジウムを開催する。

要求概要

(事業予定)

「プロジェクトデザインの策定」(取組内容の決定)

- 行政・警察・地域住民等からなる堺セーフシティ・プログラム推進会議を立ち上げ、平成 26 年度に作成した「スコーピングスタディレポート」を基に、取組内容を決定する。
- ワークショップを実施し市民意見を収集する
- レポートを作成し、国連に報告する。

「ベースラインスタディの実施」(経過観察及び影響評価)

- 研究者チームにより、取組事業スタート前の指標測定等を行い、経過を「ベースラインスタディレポート」としてまとめる。

「セーフシティ・プログラムにかかる啓発事業」

- 市民に対する周知・啓発事業を実施する。

(要求額)

地域安全対策分析研究・啓発:4,000 千円

推進会議関連経費:515 千円

国連等との連絡調整経費:440 千円

その他事務経費:149 千円